

# 県立西宮病院と市立西宮中央病院の 経営統合について

## 日本共産党市議団の見解



林田町の  
市立病院

六湛寺町の  
県立病院



1月19日県の井戸知事は、県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方について、外部有識者を交えた検討委員会を設置すると、西宮市議会議長に伝えました。

これは、12月議会で西宮市議会が「経営統合を求める

意見書」を全会一致で採択し、知事あてに渡していたことへの回答です。

**公的病院として  
救急体制や周産  
期、小児科等の  
拡充のためにも**

共産党市議団は、林田町の市立中央病院が老朽化し、現地建替えも困難ということなどから、公的病院として小児救急強化や周産期医療・災害拠点としての機能等を果たすことができる「経営統合」について必要と、議会としての意見書に賛成しました。

現時点では「経営統合」の  
具体化は見えていませんが、今後の検討では、経費負担割合について十分協議のうえ、県・市の割合が妥当なものとなるよう、特に留意することなどを求めています。この件では随時報告していきます。

**日本共産党**

**上田さち子**です



2016. 1. 31 号

(発行)

日本共産党市会議員  
上田さち子  
川添町五・十八  
電・三五二八一三

### またまた 会派「維新」が解散

昨年11月に蒼士会が解散し「ぜんしん」になりましたが、20日には「維新」が解散。3名の議員は無所属となりました。国政政党「維新の党」の分裂に伴い、1人が「おおさか維新の会」に合流するためとか。3月議会も直前、どうなるのか・・・

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。  
ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

# 「子どもの貧困問題」が深刻です

## 市議団の視察で豊島区のNPO法人を訪問

国会の論戦でも貧困問題、特にひとり親家庭の貧困率がOECD加盟国中最下位の日本の実態が次々と明らかになってきました。

できないとか、経済的、精神状況などからネグレクト（育児放棄）により、食事がとれない子どもの実態など深刻さが増えています。

親がいくつもの仕事を掛け持ちしており子どもの世話が

テレビでも紹介された、豊島区のNPO法人は、区内の

## 業者からの献金疑惑・甘利大臣をかばう山東昭子参院議員の暴言！

甘利明経済再生担当相をめぐる金銭授受疑惑が大問題になっています。この件で、自民党山東派の山東昭子会長は21日、「政治家自身も身をたださなければならぬが、（週刊文春に）告発した事業者のあり方も『ゲスの極み』。まさに『両成敗』という感じでたださなければならぬ」と述べました。

政治家を告発した業者の方を悪く言えないで、政治家の黒い考えを放すのはいけません。政治家は黒い考えを放すのはいけません。政治家は黒い考えを放すのはいけません。



豊島子どもWAKUWAKU ネットワークが開く「子ども食堂」

公園を活用したプレーパークの運営をはじめ、個人宅やお寺の協力を得て「子ども食堂」等も開設しています。子ども食堂には食事がとれない子どもや、忙しい親が子どもとともに訪れ、無料300円の負担であったか食事がとれホッとしているそうです。

## 沖縄にも「雪」

大寒に入り、日本列島が凍りついています。カイロを背中に貼ったり寒さ対策をしっかりとってお過ごしください。外から帰ったら、必ず手洗いとうがいで風邪の予防もお忘れなく。

## 子ども食堂などにスタッフが400人以上に

対応してくださった栗林さんは「貧困の実態がなかなかつかみにくいのが、プレーパークにいつも一人で来る子どもの存在が、子ども食堂開設のきっかけでした」と語られました。西宮での取り組みに生かしていきたいと思えます。